

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

* 図書館ガイダンスの
処方箋

テーマ：b マーケティング / 3班

発表日：2013/10/18
会場：大阪大学

◆ 症状（ガイダンスの課題）

ガイダンスに人が来ません。
学生がつまらなさそうで、
寝ている子もいるんです…。

◆ 自覚症状

もしかして、
図書館のガイダンスが
おもしろくなんじゃないかと…。



◆ 問診（現状の把握）



- ・ つめこみすぎ
- ・ うざい（知ってるよ、そんなこと...）
- ・ 学生自身と関係ない、必要ない
- ・ 一方的にしゃべってるだけ
- ・ 文字ばかりのスライド

◆ 診断（どうすればおもしろくなるか）

- ・ 大事なことだけにしぼりこむ
- ・ 見たらわかることは動画にする
- ・ ニーズ調査、学生によりそう
- ・ アクティブラーニングの要素を
- ・ プレゼンの工夫を



◆ 症例（ガイダンスの設定）

- ・ 四年生（総合）大学
- ・ 初年次教育
- ・ 全学共通の1コマ 90分（50分）
- ・ 6月ぐらい（そろそろレポートを書くころ）
- ・ PCが使える講義室で図書館員が講義
- ・ 教員からは内容について特に打ち合わせなし



◆ 治療計画（準備）



1) 学生の傾向をつかむ

- ・ 入試科目をつかむ
- ・ 教員からの聞き取り（最近の学生はどうですか？）
- ・ 毎年アンケートをとって蓄積・分析

2) ガイダンスのねらいを決める

- ・ レポートを書くために
適切な資料を探して入手できるようになる

◆ 治療計画（準備）



3) 内容・構成を決める

- ・ いいレポートとは？（いい例と悪い例を示す）
- ・ テーマとキーワードを見つける
- ・ 信頼できる情報源とは？
- ・ 図書館を活用しよう



これをしゃべるだけだと
従来と同じなので...

◆ 治療計画（準備）

やり方の工夫

- ・ 「優」のレポートを書いた先輩に、
どうやって書いたのか話してもらい、
図書館員からもっと良くなるアドバイスを紹介
- ・ 手を動かす、グループで話し合うなどの
アクティブラーニングの要素を！



どうぞお大事に！
ご清聴ありがとうございました。

